

コカ・コーラ ボトラーズジャパンホールディングスが減損損失を計上 一格付への影響は限定的だが、今後の利益の回復状況を注視

以下は、コカ・コーラ ボトラーズジャパンホールディングス株式会社（証券コード：2579）の減損損失の計上および業績予想の修正についての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

■見解

- (1) 昨日、当社は19/12期通期業績予想の修正を発表した。旧コカ・コーライーストジャパンを取得した際に発生したのれんの全額（618億円）を19/12期第2四半期決算において減損損失として計上した。19/12期通期の親会社の所有者に帰属する当期利益を従来予想である52億円の黒字から567億円の赤字へ下方修正した。
- (2) 今般計上した減損損失の金額は小さいとはいえないが、19/12期第2四半期末の親会社所有者帰属持分比率は56.5%（18/12期末66.2%）であるなど引き続き良好な財務構成を維持している。一方、工場被災による供給能力の制限などの影響もあり昨年以降の業績は落ち込んでいる。今回、新たに発表された24年までの中期経営計画の中では、ベンディング事業の変革をはじめとした構造改革や成長投資を進めていく計画となっている。これらの取り組みにより利益が回復するか進捗を見守っていく。

（担当）井上 肇・三浦 麻理子

【参考】

発行体：コカ・コーラ ボトラーズジャパンホールディングス株式会社
長期発行体格付：AA- 見通し：安定的

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかなるものを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル